

学校生活のきまり

I 校内生活について

- 1 時間…決められた日課時刻を守り、充実した学校生活を送る。
- 2 規律…楽しい集団生活を送り、実りのある活動にするため、次のことを正しく守る。
 - (1) 教室や校舎の内外を清潔にし、用具や物品の整頓を心掛ける。
 - (2) 登校後、下校までは許可なく校外に出ない。
 - (3) 欠席・遅刻・早退の時は、その理由を保護者が担任に連絡する。
 - (4) 公共物は大切に扱う。
- 3 礼儀…お互いの人格を認め合い、心の通った人間関係をつくりあげるための礼儀を大切にする。
 - (1) 先生や来客には進んであいさつをする。また、友人同士もお互いにあいさつを交わす。
 - (2) 授業の始めと終わりは正しく礼をする。
 - (3) 正しい言葉遣いを心掛ける。

生徒心得

- 授業は、原則、制服を着用する。
午前中に体操服を着用する授業があるときは、朝の会後に着替える。
午前中に体操服を着用する授業がなく、午後に体操服を着用する授業や部活動がある場合は、3校時終了後の休み時間に着替える。
- 定期テスト、実力テストは制服で受ける。
- 金銭、携帯電話、菓子など学校生活に必要なものは持参しない。
※ 不要なものを持参した場合は担任が預かり、後に保護者を通じて返却する。
- 学習用具等は、通学バッグ（学校指定）とサブバッグ（双中バッグ）に入れて持参する。
- バッグに付けるキーホルダー等は1つまでとする。

II 校外生活について

- 1 社会のルールを守り、公共のマナーを考えて生活する。
- 2 長期休みは、「夏・冬・春休みを有意義に過ごすために」の各項目を守って生活する。

望ましい服装

◎ 常に清潔さを心がけ、規定の服を着用する。

I 型

- 上 着
 - ・標準型とする。
 - ・白ワイシャツ（長袖又は半袖）とする。
- スラックス
 - ・標準型とする。
 - （タック入りのスラックスを着用する場合は申し出ること）

II 型

- 上 着
 - ・背広型とする。
 - ・丸襟ショールカラーブラウスとする。
- スカート
 - ・ジャンパースカートとする。
 - ・長さは、ひざがかくれる程度とする。
- スラックス
 - ・標準型とする。
 - （タック入りのスラックスを着用する場合は申し出ること）

◎その他

- ・制服の胸ポケット部分に名札を付ける。また、体操服には学校指定の名札をつけるか、内側のタグ等に記名する。
- ・カーディガン、セーター、ベストは、黒や紺、グレーの無地（ワンポイント可）とし、学生服の下に着用し、裾や袖が制服からはみ出ないようにする。

服装規定付則

- 1 コートの色は、紺または黒とする（ウィンドブレーカーも可）。フード付きも可とするが、必要がないときは、かぶらない。
- 2 登校時や下校時は、原則、制服を着用する。ただし、部活動の放課後練習に参加する場合は体操服での下校を認める。
- 3 始業式や終業式などは、制服で参加する。
- 4 マフラーは、安全に留意した長さのものを使用する。
- 5 ベルトは派手でない黒か紺色とする。
- 6 靴下は白、黒、紺色とし、ワンポイントは可とする。
※ くろぶしが完全にかくれ、足首を保護できる長さとする。
※ 冬期に黒のストッキングまたはタイツの着用可。
- 7 夏は、健康上、白ワイシャツやブラウスの下に半袖体操服または白や無地のシャツを着用する。
- 8 通学用靴は白、黒を基調とし体育時に使用できるものとする。靴紐は白又は黒とする。
※ 靴底の色やメーカーのロゴマークは除外。
- 9 上履きは指定靴とする。

望ましい髪型等

◎中学生にふさわしく、活動的で清潔な髪型にする。

中学生としてふさわしい髪型

- 1 前髪は、自然な状態で、目にかからないようにする。
- 2 脱色したり染色したりしない。また、カールやパーマはかけない。
- 3 整髪料（ヘアスプレー、ヘアワックス等）はつけない。
- 4 髪の一部を短くしたり（伸ばしたり）立てたりせず、左右全体のバランスを整える。
- 5 眉は自然な状態に保つ。
- 6 長い髪は、束ねる（編む）。